



西  
遊  
記

7.14

# なまか、再見参!

史上最高・最大のスケールで描く映画「西遊記」  
滅び行く町=虎誠を甦らせるために  
この夏、彼らがスクリーンに帰ってくる!

三蔵法師一行が立ち寄ったのは、草木の枯れた砂漠の町。

王宮に招かれた一行は、魔法によって醜い畜にされてしまった王様と王妃様を目の当たりに…。

かつて縁豊かだったこの国に金角大王・銀角大王という恐ろしい兄弟妖怪が現れ、この国の縁とすべての財宝を奪い、王様たちに妖術をかけて去って行ったという。この国の人々は妖怪の力を恐れ、悪に立ち向かう勇気を失っていた。女王・玲美は三蔵たちに懇願し、金角・銀角を倒す旅に出かけることになる。

砂漠を抜け、荒地地を渡り、川を遡って、ようやくたどり着いた魔の山。そこは恐ろしい異が仕掛けられた危険な山だった。力を合わせて数々の難関を突破しながら登っていく玲美と悟空たち。そして、ついに金角・銀角が住むという山頂に着いた時、そこに待っていた予想外の真実。はたして悟空と仲間たちは、滅びかけた町を復活させることができるのか?

## 香取慎吾 (かとりしんご)

孫悟空 (そんごくう)

●石から生まれた石猿。齊天大聖として猿たちの頂点に立っていたがお釈迦さまに捕まり、500年間石に閉じ込められてしまっていた。待ち望んだ三蔵法師が通りかかったことにより解放され、共に天竺を目指すこととなる。元氣な悪猿! 暴れん坊。三蔵が念仏を唱えると悟空の顔を絞める緊箍児にはかかない。心の熱さも並みじゃなく、悟空の言葉は周りの者の心を動かす。

## 内村光良 (うちむらてよし)

沙悟浄 (さごじょう)

●かつては混世魔王という妖怪の下で働き、くつかの罪をおかしたことも、大人で計算高くコビル。いざという時に機転が利く。だが女にはめっぽう目がない。血は笠とターバンの下に隠して見せがらない。

## 水川あさみ (みずかわあさみ)

凜凜 (りんりん)

●セクシーなチャイナドレスを身にまとい、まさに神出鬼没の動きで、自分のねらった獲物をゲットする。TVドラマ終盤では、お姫様だったという予想していなかった意外な素顔を見せる。実は、悟空の事が好きなのか…? ご一行と付かず離れずの存在である。

## 多部未華子 (たべみかこ)

玲美 (れいみ)

●甲冑を身にまとい、大騎馬隊を引きつれて登場するアクティブな一面を持つと思えば、エレガントなドレス姿で登場したりと様々な顔を持つ、気の強いお姫様。悟空たちに金角・銀角から国を救って欲しいと願うが、実はその裏には驚くべき真実が?

## 鹿賀丈史 (かがたけし)

金角大王 (きんかくたいおう)

●混世魔王さえ恐れる絶対妖怪の兄弟。兄。闇の中に不気味に、そして美しく金色に輝く姿は、多くの心を恐怖に陥れる。世界を手中にする為、手段を選ばない悪党ぶりは、三蔵法師一行を史上最大の危機へと追いやる。弟、銀角とは対照的に重厚感と迫力をヘースとした攻撃を得意とする。



深津里 (ふかつえり)

三蔵法師 (さんそうほうし)

●妖怪にも名の知れた、皆に尊敬される立派な法師。一斉に責められると絶句してしまう弱い一面も、その深い信仰心、自らの命を投げ打ってでも悟空たちや人々を助けようとする姿勢は誰にもまねできない。人を信じる心を最も大切にす。

## 伊藤淳史 (いとうあつし)

猪八戒 (ちよはかい)

●イノシシの一族に生まれた、たった一匹の豚。小さい時から笑いものにされてきたが、天竺に一族を代表して行くことを決意し今に至る。いじめられキャラ。食いしん坊で気が弱い子豚くん。我儘強いところが長所。



## 大倉孝二 (おくらこうじ)

老子 (らうし)

●どこからともなく現れて、どこへともなく去っていく謎の仙人・老子。一見、三蔵法師一行のお目付け役に見えるが、お調子者の性格からかなり頼りないアドバイスをする。身の丈にも及ぶその長い髭が思わぬ役に立つことも。



## 岸谷五朗 (きしたごろう)

銀角大王 (ぎんかくたいおう)

●混世魔王さえ恐れる絶対妖怪の兄弟。弟。その名のとおり全身が銀色の体色で長い剣、瞬間移動攻撃など、シャープさとスピードを兼ね備えた攻撃が特徴の邪悪なキャラクター。



7月14日(土)全国東宝系ロードショー

フジTV前・アクアシティお台場  
シネマメディアージュ  
☎ 03 (5531) 7878  
通常料金での全席指定・定員入替制  
<http://www.cinema-mediage.com>